# RHM5

(7/14/21/28/50MHz 帯)

# DIAMOND ANTENNA

## 取扱説明書

このたびはダイヤモンドアンテナをお買い求めいただきまでありがとうございました。このアンテナはアマチュア無線用7/14/21/28/50MHz帯1/4 λ短縮型アンテナです。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとも大切に保存してください。

# 注意

事故を未然に防ぐために、以下の注意事項をお守りください。

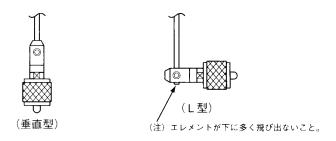
- (1) このアンテナはアマチュア無線用ポータブルトランシーバーに直接取り付けた状態で使用していただくように設計されています。同軸ケーブルを使用して取り付けた場合、SWRが下がらないことがありますが異常ではありません。
- 2: 送信中にアンテナに触れると感電することがあります。 絶対にアンテナに触れないでください。
- (3) アンテナの取り付け、取り外しの際は、顔などに当たらないよう十分に注意してください。
- (4) トランシーバーのコネクターとアンテナのコネクターが 同じ種類であることを確認してください。
- (5) 機械的強度、防水などの問題によりこのアンテナの常設でのご使用はおやめください。

#### ●特長

- (1) RHM5は、1本のアンテナで5つのアマチュアバンドがショートエレメントの切換により、運用が可能であるため、移動運用の際はこれ1本でOKです。
- ② HF帯は、バンド切換およびロットエレメントの伸縮によりゼネカバ受信が可能です。
- ③ロットエレメントは脱着可能です。コンパクトになり移動運用 時に便利です。

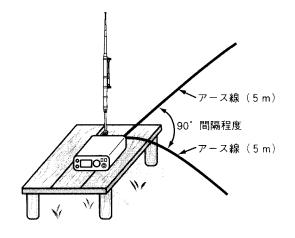
### ●使用方法

●アンテナ部の給電コネクターは、無線機への取付方法等により 2通りの取付方法があります。ご使用方法によりセットビスを ゆるめて、給電コネクターの上部または側面に下部エレメント を差し込みセットビスで固定してください。



- ●ロットエレメントをローディングコイル上部にネジ込んでください。
- ●このアンテナは 1/4 λ 短縮型(HF 帯)および 1/4 λ (50MHz 帯)のため、アンテナ本体だけでは性能が発揮できません。そのため付属のアース線を無線機本体のアース端子などを利用して取り付けてください。

なお、2本のアース線間が90°間隔程度に開くように地面をは わせてください。(図参照)



# RHM5

(7/14/21/28/50MHz 帯)

# DIAMOND ANTENNA

## 取扱説明書

このたびはダイヤモンドアンテナをお買い求めいただきまでありがとうございました。このアンテナはアマチュア無線用7/14/21/28/50MHz帯1/4 λ短縮型アンテナです。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとも大切に保存してください。

# 注意

事故を未然に防ぐために、以下の注意事項をお守りください。

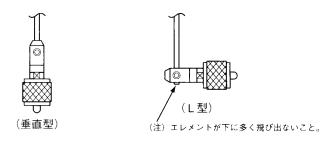
- (1) このアンテナはアマチュア無線用ポータブルトランシーバーに直接取り付けた状態で使用していただくように設計されています。同軸ケーブルを使用して取り付けた場合、SWRが下がらないことがありますが異常ではありません。
- 2: 送信中にアンテナに触れると感電することがあります。 絶対にアンテナに触れないでください。
- (3) アンテナの取り付け、取り外しの際は、顔などに当たらないよう十分に注意してください。
- (4) トランシーバーのコネクターとアンテナのコネクターが 同じ種類であることを確認してください。
- (5) 機械的強度、防水などの問題によりこのアンテナの常設でのご使用はおやめください。

#### ●特長

- (1) RHM5は、1本のアンテナで5つのアマチュアバンドがショートエレメントの切換により、運用が可能であるため、移動運用の際はこれ1本でOKです。
- ② HF帯は、バンド切換およびロットエレメントの伸縮によりゼネカバ受信が可能です。
- ③ロットエレメントは脱着可能です。コンパクトになり移動運用 時に便利です。

### ●使用方法

●アンテナ部の給電コネクターは、無線機への取付方法等により 2通りの取付方法があります。ご使用方法によりセットビスを ゆるめて、給電コネクターの上部または側面に下部エレメント を差し込みセットビスで固定してください。



- ●ロットエレメントをローディングコイル上部にネジ込んでください。
- ●このアンテナは 1/4 λ 短縮型(HF 帯)および 1/4 λ (50MHz 帯)のため、アンテナ本体だけでは性能が発揮できません。そのため付属のアース線を無線機本体のアース端子などを利用して取り付けてください。

なお、2本のアース線間が90°間隔程度に開くように地面をは わせてください。(図参照)

